

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月26日更新

事務事業名		企業活動支援整備事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	榮 峰男
	施策	28	企業誘致の促進と働く場の確保			所属課	商工振興課	担当者名	境 真奈美
	施策の柱	75	雇用環境の充実支援と就業機会の確保			所属班	企業立地支援班	(内線)	5214
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 3	事業連番 11623	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 26 年度) ☐ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	工業団地等のインフラ整備、維持管理を行い、企業が活動しやすい環境づくりを行なう。 セミコンテックパーク緑地維持管理業務や、セミコンテックパーク通勤バス運行負担金の支出を行う。
【業務の流れ】	要望聴取→予算計上→契約事務→事業施工→維持管理
【主な予算費目】	工事費、委託費、負担金
【意見や要望】	道路改良の要望があがっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) セミコンテックパークや栄第2工業団地緑地の維持管理と企業からの要望を受け、インフラの整備を行った。インフラ整備では、栄工業団地2号線の道路維持補修及びセミコンテックパーク周辺の防犯灯を修繕し、勤労者が安心して働ける環境づくりに努めた。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) セミコンテックパーク緑地維持管理、市内工業団地内の道路舗装工事を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア 市内企業との情報交換回数		工業団地内道路舗装工事完了に伴う工事請負費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市内立地企業等		→ ア 市内企業等からの要望数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
企業活動をより活発に行なってもら		→ ア 要望による事業実施件数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア イ	件	96	98	80	115	80	80	80	80	
② 対象指標	ア イ	件	7	5	5	5	5	5	5	5	
③ 成果指標	ア イ	件	5	5	4	5	4	4	4	4	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	27,400	17,700	15,700	12,700				
		その他	千円	3,779		1,863	2,438	783			
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	15,947	13,767	18,336	9,498	19,264	15,000	15,000	15,000
		(A)のうち指定経費	千円	47,126	31,467	35,899	24,636	20,047	15,000	15,000	15,000
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	4	3	0	3	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	738	880	0	910	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	2,885	3,349	0	3,314	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	50,011	34,816	35,899	27,950	20,047	15,000	15,000	15,000	

事務事業名	企業活動支援整備事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】 企業との積極的な情報交換ができた。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 受けた要望に対して予算措置を行い、本年度も事業を行なう予定である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 企業との積極的な情報交換により、企業からの要望を見出し、事業に反映することができる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 すでに平成26年度に類似している事業の統廃合を行い、これ以上の統廃合はできない状況。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 熊本地震の影響もあり、今後も企業からのインフラ改修の要望は増加すると見込まれる。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 契約事務など職員がすべき業務内容であり、外部委託は望ましくない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 工業団地などの企業集積地の社会インフラ整備を適切に行なうものであり、適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 工業団地などの企業集積地の社会インフラ整備を適切に行なうものであり、適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

工業団地等のインフラを適切に維持管理することができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）			(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																										